

しんあい

季刊

2009年(平成21年) 11月5日発行 第71号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10

TEL 042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい



ご夫婦で入居されている
T様。ご主人は3階、奥
さまは6階ですので、な
かなかお会いすることが
できません。織姫と彦星
のようです。

（かんだ連雀）

- ・ 特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・ 高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター
- ・ 養護老人ホーム信愛寮
- ・ 特別養護老人ホーム信愛緑苑
- ・ 府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・ 府中市立あさひ苑
高齢者在宅サービスセンター
- ・ 特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・ かんだ連雀高齢者在宅サービスセンター
- ・ 千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・ 子ども家庭支援センターしらとり
- ・ 母子生活支援施設白鳥寮
- ・ 母子生活支援施設東京都網代ホームきずな
- ・ 府中市子ども家庭支援センターたち

● 生活を支える
～在宅生活編②～

● 介護保険を考える31

● 施設だより
今年の収穫

ささえる

活編② ～

康で、住みなれた家で
活を続けたい。

院や出張の時に
供だけになっちゃう…。

談から始まります。
口があります。ご心配な
間365日いつでもどうぞ!!

みんなにとつての リフレッシュ

たつちのリフレッシュ保育室では、府中市在住の1歳から小学校に入るまでのお子さんを1日最大4時間までお預かりしています。利用理由は、『保護者のリフレッシュ』、『家族の介護や通院』、『ハローワークや諸手続きに行く』、『きょうだいの健診や幼稚園行事に参加する』などさまざまです。

保育室は開設5年目を迎え、定期的に利用するお子さんや、きょうだいで一緒に利用するお子さんも増えてきています。

保育室を利用している中で、弟や妹が生まれるお子さんもいます。幼稚園入園を機に保育室を利用する機会は減ってしまったお子さんが、弟や妹のお迎えで元気な姿を見せてくれることもあります。また、土・日曜日や夏休みなど、幼稚園が休みのときにはきょうだい一緒に利用もあつて、1人のときとは違った姿を見せてくれます。保護者の方に保育室での様子を

伝えることで、「へえ、そうなんだ!」とお子さんの新たな一面を知る機会にもなっているようです。

中には、下のお子さんを預けてお兄ちゃんやお姉ちゃんと過ごす時間をつくる方もいます。いつもは、お兄ちゃん、お姉ちゃんとして頑張っている分、この日だけはお母さんをお存分一人占めして過ごし、迎えるときにお母さんよりも先に「○○ちゃん!! たいだい!!」と、保育室に走ってきます。そのときの笑顔に、それまでの時間がとても楽しかったことを感じるこがでます。

保護者の方の「お兄ちゃんやお姉ちゃんと久しぶりのんびり過ごせました」と笑顔で話してくださる姿に、子育てを楽しくお手伝いを少しでもしているのかなと感じます。

(子ども家庭支援センター) たつち

保育士 嶋田 歩



いきいき! 元気に 神田でながいき!!

私たち「高齢者あんしんセンター神田」は、千代田区の神田で生活されている高齢者の総合相談窓口として、日々神田の街を走り回りさまざまな相談に対応しています。

相談の内容は一言でいえば「高齢者の介護や介護予防に関わる総合的なよろず相談」で、困った時の最初の相談窓口としての役割、権利擁護や虐待防止などの相談、介護状態にならないための介護予防相談、認知症に関する相談、見守りのための電話訪問、制度の隙間を埋める過渡的・緊急的なよろず対応などです。今回はそのなかから、「神田で元気にながいき教室」と「神田で元気に手遊びフラ体操」をご紹介します。

神田で元気にながいき教室は、高齢者やその家族が住みなれたこの神田の地で元気に長生きすることを目指し、年6回開催している教室です。内容は、栄養や食事、運動機能の維持向上、認知症、権利擁護などさまざまです。

神田で元気に手遊びフラ体操は、「神田で元気にながいき」というテーマの具体的な実践教室で、内容はフラダンスを取り入れた楽しく行う健康

体操です。音楽に合わせてフラを踊るだけでなく、歌を歌いながら、その歌の内容も理解して笑顔で体を動かすもので、運動機能だけでなく認知症予防にも効果があります。(フラダンスが得意なステキな看護師が先生です)こちらも年6回で、神田で元気にながいき教室と毎月交互に開催しています。

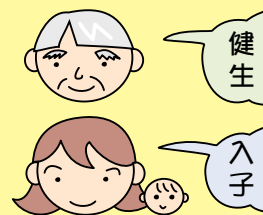
お近くにお寄りの際は、ぜひおいで下さい!

(高齢者あんしんセンター) 神田
センター長 武田 潤一郎



生活を

～ 在宅生



福祉サービスはまず相
法人各施設には、相談窓
口がありましたら、24時

一歩近づけた瞬間

施設には施設のケアマネジャー（介護支援専門員）がいますが、在宅で介護保険サービスを利用する場合には、私たちのような「居宅介護支援事業所」のケアマネジャーがケアプランを立てることになります。その後も、サービスが適切かどうか、不足や必要なサービスがないかを確認し、調整する役割を担っています。

私が担当するAさんとNさんは、ご夫婦の二人暮らしです。Aさんはアルツハイマー型認知症という病気。時々息子さんを弟さんと思ってしまうことがあります。洋服をどの順番で着たらいいかも分かりません。奥さんであるNさんは2年前、脳梗塞で右半身麻痺になりました。でも生来の努力家で随分リハビリを頑張ったのだらうと思います。時間をかけながら身の回りのことを自分で行っています。実はこのご夫婦を担当した時、いつまで在宅生活を続けられるか半信半疑の船出でした。たぶん、今でも一日一日大変な思いをして過ごしていると思いま



（泉苑居宅介護支援事業所
介護支援専門員 幸正 ひろみ）

す。デイケアでリハビリは続けていますが、現状維持の状態です。でも、私が一歩だけ変わったと思うことがあります。それは、Nさんは私が訪問して何かお話をしようとしても初めは話すのも面倒だと言わなければならなかったです。今は、「主人が何も分からなくて困る」と話してくださるようになったことです。

ご利用者がどのような生活を望んでいるか？ それを問うところからケアマネジメントは始まります。私はやっとその出発点に立てたところでしょうか。ケアマネジャーはそんな小さな一歩に喜びを感じて仕事をしています。

困った時はいつも あなたのそばに！

今年の4月より、「府中市立あさひ苑在宅介護支援センター」は「あさひ苑地域包括支援センター」に名称変更になりました。業務内容は今まで在宅介護支援センターが行っていた総合相談業務に加え、介護保険上の要支援の方に対するケアプラン作成業務が加わりました。と言っても何をしているかわかりにくいと思いますので、最近の活動をご紹介します。

Aさん67歳男性 一人でアパート暮らし。認知症が進行して生活全般が成り立っていませんでした。電気代を何ヶ月も滞納して送電線を切られていました。室内で動けなくなっていた本人を大家さんが発見し、不動産屋さん↓民生委員さん↓で連絡が入り夕方遅く地域包括職員が訪問しました。何日も水分も食事もとれていないようで、身動きできなくなっていたため、市役所の担当者に連絡して救急車を呼び、入院につなげることができました。

掲載している写真はBさんという72歳の女性の今後の生活をどうするか検討している「担当地区ケア会議事例検討会」です。この会議には、地域包括・市役所福祉相談担当・ケアマネジャー・サービス提供事業所などが出

ています。何年にもわたり悪徳消費者被害にあっているBさんをどうやって守ってあげられるかを検討しています。それぞれがそれぞれの立場で意見を交わし、方針を決めた後に役割を決めて支援していきます。

高齢であること障害をお持ちであることのために生活に支障をきたした方やその家族が、その方らしい生活が送れるようにするために、あらゆる関係機関との連絡調整をし、介護保険サービスにつながる時は、家族の代わりとなって、各種手続きの申請のお手伝いや、通院の付き添いなどの具体的な援助を行っています。あさひ苑地域包括支援センターのポリシーは「解決できないところに相談は来ない」です。

（あさひ苑地域包括支援センター長
清野 哲男）





介護保険制度 (総集編)

2009年9月10日に厚生労働省が2006～2008年度に自治体が計画した介護保険施設などの整備状況を発表しました。これを受けて毎日新聞は9月11日付朝刊にて「首都圏近畿圏の大都市で整備が進んでいないことが鮮明になった。達成率が低い都府県は、理由について人材や土地の確保が難しいことや基盤整備費の補助が不十分といった点を挙げたという。03、06年度に介護報酬が引き下げられたことも影響したとみられる」と報じています(ちなみに東京都の計画に対しての達成率は44%です)。朝日新聞は9月15日付社説で、高齢化のすすむ都市部で介護施設整備が進んでいないことについて介護難民政策待ったなしと新政権に注文していました。

2施設の整備補助金はあまり表面にはでていませんが、2000年4月介護保険制度導入、2005年10月からの居住

	1992 (H4) 年度【補助金/老人福祉法】/1994 (H6) 年度開設 信愛緑苑(養護老人ホーム併設特養)	2002 (H14) 年度【補助金/ かんだ連雀(千代田区プロ
特別養護老人ホーム 施設整備費補助金 (国及び東京都)	【創設】 30.83㎡×入所定員×300,770円(主体工事費)×3/4(社福法人補助率) 痴呆性老人の為の個室整備を行う場合には1人当たり2.9㎡を加算する(定員の3割以内)。 ・特別養護老人ホーム合築高層化割増 1.08～1.22 ・昇降機整備工事費 ・スプリンクラー設備工事 ・機能回復訓練器具整備費 ・非常通報設備整備費 ・感染症予防対策整備費	【創設】・従来型 ●グループケアユニット型(38) ●一般型(34.13㎡/床) ・個室加算(2.9㎡/室) (定員の3割を限度)
説明	利用者の一人当たりの基準面積(基本は4人室)と工事費補助金が年度ごとに決められ、定員数を掛け、民間社会福祉法人は補助率3/4で算出された。その他各設備整備費の加算があった。 合計額を定員で割り返すと一人当たり1,088万円になる。 東京都の場合、法人負担となる1/4に対しては、各区市の補助金があることが多かった。国・都・区市により整備がすすんだ。	介護保険法施行(2000年4月)の補助金単価となっており、翌グループケアユニット型が奨
背景	ゴールドプラン(1989年)から新ゴールドプラン(1994年)を受け、東京都に於いては、各区市が在宅サービスを併設した特養を地域の拠点施設として積極的に整備した。 地価の高い区部では、区有地に区が建設し、民間社会福祉法人に運営を委託する、いわゆる公設民営といわれるかたちで特養の整備が推進された。また民間法人が建設する場合も法人自己負担に相当する部分に多くの自治体が補助金をつけ、特養整備を促進した。 1993年(H5)年開設した府中市立あさひ苑は府中市が設置し、当法人が受託した。公設民営の施設(現在は府中市の指定管理者として運営)。	介護保険制度の下で、サー 介護の利用者数など)により、 下する仕組みになった。施設 めに、施設整備は余りすすま 機者は増加した。各施設とも も、特養の施設整備は停滞し ホームやグループホームが急 は公有地をプロポーザルで民 入金や自己資金を中心に特養

独立行政法人福祉医療機構の貸付基準額は一人当たり1,370万円(2010年度分)と設定していますが、仮にこれを基準に補助金を当てはめて割合をみると、1992年度は1,088万円[79%]から、2002年度720万円[53%](ユニット型810万円[59%])、現在430万円[31%]と大きく減少してきています。現行は、国(都)の補助金が減った分は福祉医療機構の貸付金で充当し、介護報酬と利用者の居住費(家賃)収入等で返済する仕組みです。

ちなみに新型特養は、居住費基準額でも月額約6万円になります。居住費6万円に、食費、一割利用料、その他日

良く生き、良い死を

迎えるために

「加齢・老化・寿命・死の選択」

平成21年9月3日、社会福祉法人三徳会理事長・東京医科大学名誉教授であり、多摩同胞会の理事でもある内野滋雄先生を講師として迎え、標題のテーマについての講演会を開催しました。このテーマについて考えることが今年度の法人各施設の共通の課題となっています。

会場となったかんだ連雀の1階は職員、ご家族、地域の方々と百名を超える参加者数となり職員がイスの確保に奔走するという一幕があるほど盛況でした。

講義では、「福祉はサイエンスである」という内野先生の持論に基づき、加齢・老化・寿命・死について医学的な側面からご説明頂きました。



現在、日本人の寿命は、女性86歳・男性79歳と世界でも有数の長寿国です。これは喜ばしいことではありませんが、この数値には長期にわたる介護を受けている人や寝たきりの人の数も含んでいるという問題が隠されています。健康寿命を保つ努力をしていくことが「良い生き方」につながると説明されました。



まず場所ですが、自宅・病院・福祉施設などいくつか考えられますが、どこでも自由に選び、自分の望む環境で死を迎える。

死に方は、安楽死や老衰死（自然死）・尊厳死などの説明を頂きましたが、現在の法律・医療・日本人の死生観など、どれもまだ問題が残されているとのことでした。

最後に、講義を受けて感じたことは、参加者が百名を超えたことが物語るように、いかに多くの人が生きること死ぬことについて関心があるかということでした。普段、私の携わる業務では死という言葉はあまり使いません。というより避けています。暗いイメージ・負のイメージを皆様に感じさせないようにと配慮しているつもりでした。しかし、高齢者の方々がそれぞれの望む死というものを話し合うことで、より安心した生活を送ることができるのではないかと感じました。

（かんだ連雀次長：金井英明）

健康寿命を延ばすには、肥満や高血圧・疾病にならないようにすることはもちろんですが、それと共に、精神的に豊かな生活を送ることが大事である。たとえば、他人に迷惑をかけない。他人に感謝し感謝される生活を送る。人との交わりを大事にするなどの目的をもち、それを達成するための努力をすることが生活を充実させ、健康寿命を延ばし、ひいては「良い生き方」につながるということでした。

では、「良い死を迎える」ということは、どういったことでしょうか。

*10月1日府中市のルミエール府中でも、同じ内容の講演会を開催いたしました。

施設
だより



今年の収穫



2009年は、どんな年でしたか？
各施設では、素敵な収穫があったそ
うです。

泉 苑

新たな場所での収穫

法人の一員となり、長く仕事を続ける中で様々な業務を経験しました。ここ数年間は施設の外へ出て、地域の「お年寄り」と呼ぶには早過ぎる、元気な方達へ「介護予防」という形で様々な活動を提供するものでした。忙しい毎日の中で「転ばなくなったわ」「出かけるようになった」といったご利用者からの声で仕事に張り合いを感じる事が出来、充実した日々でした。

今年度になって施設異動となり直接お年寄りの手を取り、ここ数年関わってきたいわゆる「元気高齢者」とは違う、常に他人の助けを借りなければならぬ方達への手助けを久し振りに行い、新鮮な気持ちで蘇ってきました。

他人に頼らざるを得ないが故に他人に対して姿勢が低く、常に感謝の気持ちで在り、弱いが故に元気な状態では気付かない視点で、人を氣遣う暖かさを

もつご利用者へ接し、十数年前の勤め始めた頃の気持ちを思い出せたように感じます。長く勤めていると段々と業務の幅も広くなり、気持ちに余裕が無くなり、何時しか何をしたいかこの法人へ入職したのか忘れてしまっていたようです。

一旦気持ちをリセットし、新たな気持ちで業務へ臨む。この気持ちが私の大きな収穫です。

（介護員 傳刀 耕祐）



きすな

子どもと過ごす驚きの毎日

きすなの近くにある川の賑わいも納まりはじめた9月のある日、男の子の兄弟と川へ散歩に行きました。お兄ちゃんが突然、川の中を真剣に覗き込むので、目線を追うと…その先には…ドジョウと思いきや、巨大オタマジャクシが…！ 何としても捕まえようと協力して必死に捕まえました。「よしっ捕まえた！」それは、子どもの手のひらいっぱいになるほどの大きさで、ゼリーのカップいっぱいには泳がせるオタマジャクシでした。「大きい。」よりもっと衝撃的で、「でけえ。」が捕まえた感想でした。大きさや特徴から、食用ガエルという別名を持つウシガエルのオタマジャクシでした。オタマジャクシは短くて一ヶ月半ほどで、変態に至り力エルになりますが、ウシガエルは力エルの中でも長く、オタマジャクシの状態を越冬をし、翌年の夏に変態に至り力エルとして上陸するそうです。巨大オタマジャクシをきっかけにオタマジャクシの生態の興味深さを知り、楽しみました。

きすなの保育室でも、毎日子ども達の成長に驚かされて

ばかりです。ハイハイができるようになったかと思えば、つかまり立ちをしていて、一歩足が出て、二歩三歩と歩けるようになって…と、子どもの成長は本当に目まぐるしいことを痛感します。個人差はあるけれど、子ども達の成長を感じながら、今年一年で成長したことあるかなと、少し焦りも感じながら、負けないように頑張らなきゃと思う毎日です。

（保育士 山中 有佳）



あさひ苑

わたしの 収穫

デイサービスには親子ほど年の離れた、私の娘のような職員がいます。

- いろんなことにチャレンジする、はつらつとした若さ
- いつも相手を思いやる心に、にじみでる優しさ
- 失敗をしつかり受けとめ、成長の糧にするたくましさ

そんな若い職員の姿はまぶしいばかりです。私が数十年前に仕事に就いたとき、はたして、彼女たちのような姿勢で仕事に臨んでいたかどうかと、思わず自問自答をしてしまいます。

彼女たちの思いは、お年寄りが大好きで、笑顔で優しくお世話がしたい！そこが出发点なのだと思います。その思いはご利用者にも支えられながら、一つひとつ実を結んでいます。

私は今、娘のような彼女たちに出会えたことに感謝し、彼女たちから、そしてご利用者からたくさんのご利用を学んでいます。

(介護員

竹高 喜美子)



しらとり

惜しくも 第3位！

今年の夏も、しらとり学童では色々な行事がありました。川遊びや、バーベキュー、キャンプやプールなど、夏でしか味わえない野外活動です。中でもドッジボール大会は、去年3位入賞を果たしたので、今年は「優勝を目指して頑張ろう」と元氣いっぱい、ドッジボールの練習を楽しんできました。

学童の子どもたちは、去年よりも数段レベルアップしていて、それぞれ優勝の感触を感じているのか、とてもいい表情をして取り組んでいます。

同じ法人のきずなとは、恒例の合同練習を行い、お互い良き仲間として協力していますが、きずなの子どもたちは「応援するから、負けるなよ」でも試合では絶対勝つ」とチーム全体で強い気を感じるほどでした。

しらとりは、「チームワークを大切に」と声をかけ続けて来たことがチームに伝わって、ドッジボールの苦手な子どもが失敗しても、自然に「ドンマイ」「頑張れ」とやさしい応援が聞こえてきました。

中学生のリーダーも、チームの一人一人を守りながら、とてもいい試合を見せてくれました。結果は、第3位という成績ですが、僕の中では第1位です。

(少年指導員

市村 英貴)



緑苑

愛とパワーで 元氣3倍!?

Mさんが信愛緑苑に来て早1年。来たばかりの頃は、表情も暗く声も小さかったのですが、あれよあれよという間にお元氣になりました。車椅子に座っていたのが歩行器になり、ミキサー食が普通食になり、声も大きくなって「アハハハ」と豪快な笑顔もたくさん見られるようになりました。

今ではおしぼりたたみを手伝ってくださり、ベランダの花や野菜の成長を楽しみにしています。

元氣になった理由をMさんに聞くと「ここへ来て良かったわ。若い職員さんから愛とパワーを日々もらって、以前の3倍は元氣になったもの。」とおっしゃっていました。

Mさんにとっては、元氣になったことが今年の収穫のようです。

(介護員 大沢 清佳)



岩本町

新たな一歩

私は今年の4月から、グループホームからショートステイに部署が変更となりました。

ショートステイで驚いたのは日替わりといってもいいほど、ご利用者の顔ぶれが変わることです。グループホームでは数名の方が入居され共同生活をおくっておられます。24時間のケアをするという点ではショートステイとの違いはないのですが、グループホームでは入居されている方の頻繁な入退所というのはありませんから、その忙しさにびっくりしました。

今ではその入退所にも、ご利用者の個々の対応にも慣れてきました。この忙しさに慣れただけでも、自分の中では「収獲」かな、と思います。

（介護員 鈴木 貴史）



連 雀

宝石の ような笑顔

私達は日々、ご利用者の喜怒哀楽を感じ、仕事をしています。くるくると変わる、いろいろな表情の中で、とびっきりの笑顔を見ることが、私にとって一番うれしいことです。眼尻や頬にシワをよせつつ、心底喜んでいらっしゃるご利用者の表情からは、一世紀近く生きてきた重みや、優しさがよく伝わってきます。そのシワのひとつひとつに、人生の様々な経験が刻まれていると思うと、シワのない自分はまだまだヒヨッコだなあと感じます。

ご利用者の素敵な笑顔を見て、高価な宝石を身に着けるより、とびきりの笑顔の方が、周りの人々を幸せな気持ちにする事に気づきました。

私も年をとったら、かんだ連雀のご利用者のような、とても優しい笑顔が出来るように、頑張ります！

（介護員
吉村 友成）



たっち

みんな で栗もぎ

9月に入って夏休みが終わったひろばは、秋らしい雰囲気模様替えをし、和室は栗の木が登場しました。1歳児の交流会『はいば』では、ママと一緒に『栗もぎ』をしました。元気に身体を動かして『大きな栗の木の下で』を歌った後、栗の木にゴー!!イガイガも葉っぱも色画用紙だったけれど、ママのだっこで栗に手を伸ばしたお子さん達は、ニコニコ笑顔。収穫した栗は、お土産としておうちに持ち帰っていただきました。

たっちはビルの中にあるので、なかなか季節を感じにくいのですが、館内の装飾や、その時期の歌を歌うことで、来館する親子のみなさんに季節を味わっていただきたと思っています。どうぞたっちならではの『季節』の変化を探しにいらしてください。

（保育士 畑山 恭子）



ボランティア紹介

ご利用者の
足をきれいに
車いす清掃

長年、自営業をやっていた岩崎さん。昨年のリーマンショックから未曾有の不況の波にのまれ、店じまいをすることに。それまで仕事一筋で生きてこられたため、時間をどう使ったかかわからなくなり、またまた訪れた公共機関の窓口でボランティア活動を勧められたのが、かんだ連雀に車いす清掃に来ていただくことになったきっかけです。

「時間がうまく使えて良かったです」と毎週土曜日に顔を出してくださっています。ご利用者は自分の足である車いすがきれいになって、とてもうれしそうです。職員もなかなか行き届かないところなので本当に助かっています。

これからも、どうぞよろしく
お願いします。
(かんだ連雀 相談員
峯田恵理子)



御寄贈ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

秋川幼稚園 (株) アビック「母と子の集い」事務局 イトーヨーカ堂労働組合府中支部 岡正二
(株) デジタルナイン NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン 榎本 梅蔵 大沢良三 清水三恵
社会福祉法人 東京福祉会 誠明学園 田中理 東京都食肉生活衛生同業組合多摩南支部 東京福祉会
国立事業所 三菱商事(株) (有)セルマ (2009年7月・2009年9月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

会田久枝 会田真理 青木成江 青山幸子 明瀬多江 山恵子 杉山裕子 鈴木嘉子 鈴木好枝 鈴木好子
赤林好子 秋山恵美子 阿久津紀子 浅田貞子 スターバックスコーヒー秋葉原UDX店 角田ミサホ
朝日保育所 網代恵美 網代弘子 荒本奈津代 有本 すみれ会 関根直子 瀬崎睦子 瀬戸貞子 園部朋子
陽子 飯塚喜多子 五十嵐知子 井口イマ 池島敦子 高井峰子 高島米子 高鍋恵子 鷹野榮子 高野晴美
石井忠男 石井宏 石川アヤ 石坂勝世 石澤圭子 高橋ちよ子 田口裕香 竹内砂恵子 竹内由美子 竹
石原みつる いずみこどもプラザ 坂場昭 市川アイ 谷澄子 竹橋直久 武野純子 竹松ふく 辰本ケイ
子 市川知子 市村正美 一色美恵子 伊藤うめ子 田中久美子 田中静子 田中幸子 田中智加子 田中
伊東富美子 井上美喜子 井上圭典 井上宏子 井踏 翠 田中淑子 田部美智子 丹野由紀子 千葉芳子
世津子 岩佐和栄 岩崎敏信 上田悦子 上野玲子 土屋とき枝 角田洋子 手塚正輝 戸井田清子 東郷
上原智美 鶴澤シズ 内野愛子 内堀美喜 江口亜津 實枝子 戸島正子 柄谷さき 富田和代 富永ヒサ子
子 江田廣子 海老原志づ子 遠藤慧子 遠藤陽子 豊永昌子 永井エエ子 中下秀子 中嶋孝子 長島広
遠藤伊代 遠藤みつよ 大川久美子 大倉弘子 大島 中村愛子 永峯怜子 中村フサ子 中村紀久子
庸子 大竹義昭 大塚紗恵 小笠原みちよ 緒方シゲ 中村清美 中村夏実 中村美佐江 中村美智子 中村
裕子 小川健治 沖音楽教室 荻野和子 荻村光恵 恭俊 中山康 中山雅子 那須史子 榎林美枝子 新
小熊美和子 奥山亜子 奥山チヤ子 小倉富子 小倉 村孝子 西久保長子 西宮智恵子 西村珠美 西山京
道子 オコサの会 尾崎ヨシ子 小澤末子 踊りボラ 子 二宮澄子 根岸路子 野吾孝義 野坂昭弘 萩原
小野寺みつ子 折田浩一 折谷美和子 海江田紀久子 八枝 橋本蔵 長谷川宣子 羽鳥みのる 羽山直子
魁星(よさこい) 柿本純子 角田和歌子 笠間豊子 原田勝彦 原田康子 ビカケ小柳 樋口淳子 樋口雅
梶田慶子 鹿島千重子 柏山和子 片桐キミ子 カッ 樋口よし子 肥後住江 尾藤智子 平泉順子 平
トサロニアベ 加藤博子 加藤紀久代 加藤静 加藤 賀登美子 平澤みどり 平田敦子 広木さく江 廣瀬
洋子 金澤静江 金子武仁 金坂佳子 兼城賢志 上 一寛 廣田早苗 藤田和子 プチトマト 府中パープ
沢美和子 上村峰隆 亀岡紀知信 川上紀代子 川上 ル 船岡栄子 舟見三佐子 星川美津子 星野ユキエ
満寿美 川窪三枝子 川崎綾子 川迫美奈子 神田大 堀田武三郎 ボディーショップ ボランティアアセ
和町会 菅田幸枝 岸カヲル 北村三枝 北村よしこ ター 堀切重明 本多美智子 前田宗治 マカレ
木村幸子 琴陽会 草野裕恵 草野美鈴 窪田正紀 牧内ヤス子 政所優季 町田知行 町やつこ 松井万
久保田摩耶子 倉林穂 栗原宏子 桑原ゆう子 警察 里 松浦良枝 松沢通子 松下朗 松下朋子 松下葉
学校 弦間まさ 小出由美子 小出晨一 小岩井雅人 子 松田恵子 松野アイ 丸紅本社合唱団 三坂和子
河野トシヨ 越川幸子 小島文榮 小島ユミ子 小島 水谷静江 三輪孝子 宮崎清子 宮下美智子 明神淑
百合子 小菅よし江 後藤寿枝 後藤祐輝 小林真弓 恵 村井福子 村野豊子 明星学苑 望月友子 森田
今野幸子 紺野和子 ザ・ボディーショップ 斎藤孝 珠恵 森満隆文 森玲子 森脇敦子 八重の会 谷貝
子 酒井絃子 酒井和子 坂井恵子 坂下貴美子 坂 祥子 八木かつ子 安永節保存会 山下優子 山田ケ
本越子 坂本正子 佐久間桂子 佐藤暁子 佐藤英子 イ子 山田一丸 山田和男 山田佳津江 山田サワ子
佐藤公子 佐藤妙子 佐藤なかり 佐藤初江 佐藤ミ 山本峯子 横田公子 吉川孝一 吉田千鶴子 吉田陸
ドリ 佐藤洋子 佐野田鶴子 塩田圭子 塩澤佳津子 子 米山秀子 リリアール 我妻文子 若松小学校リ
塩田攻 重田文子 品田啓子 島田たず 清水文枝 コーダー隊 脇山令子 渡辺勝征 渡辺キク 渡辺勇
清水松枝 清水美砂子 下江美鈴 下染谷(お囃子 渡辺たき子 渡辺千晶 渡辺秀雄 渡邊弘子
下中恵美子 三味同友会 十べえお話の会 白坂千恵 (2009年7月・2009年9月)

編集後記

来年は今年以上に、色々な事を「収穫」したいと思っています。
(あさひ苑 浅見達也)

今年もあと少し。無事に厄年も終わりました。残りも何事もなく過ごせますように。
(あさひ苑 長峰達子)

秋になると最寄駅では焼き栗の販売が始まります。買い損ねないように急いで帰ります。
(泉苑 佐藤真紀)

鍋がおいしい季節となりましたが、何鍋がお好きですか？私は牡蠣鍋です。
(泉苑 黒部雅之)

新型インフルエンザに注意して、冬を乗り切りたいです。
(緑苑 大沢清佳)

9月に長めの休暇を頂いて、締切間近にドタバタしご迷惑をおかけしました。何事も計画は重要ですね。
(かんだ連雀 渡邊奈々子)

今年も慌しく1年が過ぎて行きます。もう少しゆとりが持てると思います。
(さすな 紫野久子)

今年もあとわずか！2009年もたくさん子どもたちに笑わせてもらい、楽しい一年でした。
(さすな 浦上さわ)

この季節になると子どもたちと枯れ葉遊びをしたり紅葉狩りに出かけたくなります。
(しらとり 川崎悠子)

読書の秋。先日「ラブ・ユー・フォーエバー」という絵本をご紹介していただきました。とても素敵なお勧めの本です。
(たっち 太田純乃)

先日しらとりのお子さんから「こんにちは」と挨拶を受けました。とても嬉しく、「笑顔で挨拶」の大切さをあらためて実感しました。
(事務局 青木志乃)

合同就職セミナーで、たくさんのお学生さんとお会いできたことが私の今年の収穫です。
(編集長 上野廣美)

介護に関するご相談は 無料ダイヤルで！

●泉苑在宅介護支援センター
☎0120-6540-24
老後支援24時間

●あさひ苑在宅介護支援センター
☎0120-2942-24
福祉にっこり24時間



多摩同僚会の
ホームページを
携帯でもどうぞ！